

く暮らしをささえた道具く

郷土資料館 収蔵品紹介 93

羽子板

正月の羽根突き遊びに使う長方形の柄のついた板です。江戸時代に考案された押し絵羽子板のほか、電気ごてを使った焼き

絵羽子板、絵の具で彩色した羽子板などがあります。

正月の羽根突き遊びには、「羽子板」と「はね」(ムクロジユの実に羽毛をさしたものを)を使います。ムクロジユの実には、堅くて羽子板でたたくと冬の空に澄んだ音が響き渡ります。

押し絵羽子板は、綿を布でくるんで、さまざまな絵柄を施したもので、モデルの顔の表情を立体的に表現できます。江戸時代には芝居の人気俳優などに似せたものが広まりました。現代でも年末に、その年に活躍したスポーツ選手や話題になった人物などの羽子板が作られます。このような羽子板は飾り物ですが、運動や遊びとしての羽根突きに用いられる実用品もあります。羽根突き遊びは、はねを二人で交互に打ち合うやり方のほかに、一人ではねを落とさないように連続して打ち続けるやり方もあります。

最近では、お正月に羽子突き遊びの光景を見ることは少なくなりました。

坂祝町郷土資料館(JAめぐみの坂祝南営業所3階)の次回の開放日は、令和四年四月八日(金)(午後一時から三時まで)です。ぜひご覧ください。



93

広報文芸

町民俳句 文化協会さかほり俳句会

日曜日家族みんなでいねかりだ
はぎかけの重みで実感めぐみの穂
ちゃんちゃんこ形を変へて愛犬に
ゆく秋や孤高の由布岳凜として
薬師寺や二塔向ひて秋高し
祖母の手の花柄二枚ちゃんちゃんこ
久びさに浮かぶ故郷の冬の海
山の端に静々登る冬満月
太陽の光の雫吊し柿
杉玉を吊し飛驒路や祝酒
山裾の岩にすわりて秋惜しむ
冬の蜂はむかふ力なかりけり
追伸ごと山吹の返り花
小回りのきかぬ生き方十二月

なかいさら
なかいさら
田口 孝和
田口 孝和
田口 孝和
岡本 憲子
岡本 憲子
岡本 憲子
長瀬 静子
長瀬 静子
長瀬 静子
兼松 禎子
兼松 禎子

坂祝町の情報をお届けしています!



さかほぎかう!
パーソナリティ:小栗かおる
毎月第三火曜日
18時~18時20分

次回ゲストは、消防団員です。
お楽しみに!

スマートフォンでもFMららを聴くことができます。
FMららアプリダウンロード QRコードはこちら。



2月のゴミ収集情報

【もえるごみ収集日は、月・金曜日です。】

※資源物収集日には、収集ボランティア「コスモス」がペットボトルキャップを回収しますので、ご協力ください。

※ごみの出し方については、正しく分別し、決められた日時に、集積所へ出してください。



不燃ごみ等収集日 22日(火)

缶・ビン(食品用・飲料用)を分けて「資源袋」に。
金物、ガラスくずを分けて「もえないごみ収集袋」に。袋に入らない規定の大きさまでのごみは「粗大ごみシール」を貼って出してください。

資源物収集日 20日(日)

時間: 8時~10時
場所: 町内各自治会公民館
収集物: ペットボトル、食品トレイ、蛍光灯、水銀式体温計、紙バック、廃食用油、乾電池

おくやみ
安江 守文 様(加茂山) 66歳
小原 マサ子 様(勝山) 87歳